

京都医療科学大学キャリア教育・就職ガイダンスの事例紹介

キャリア支援センター（センター長） 小山 博

本学は単科大学（放射線技術学科）であり、一学年が80名の小規模校となります。診療放射線技師の国家試験を取得し、就職先も殆どが病院、検診センターで、医療系メーカーや大学院への進学も時々いるという状況です。

従い、入学してからの職業的な目標は明確であり、大学でのキャリア支援としては、国家試験に合格させて希望する病院等へ就職させるかが主なものとなります。

これまで本学は、就職課があり主に4年生の就活を支援していましたが、昨今では国家試験に合格する学力はあったとしても、就活では医療人としての人間性、態度、マナーが問われるケースが殆どであるため、2018年度からキャリア支援センターを立ち上げ、初年次からステップを踏んでのキャリア支援をおこない、4年次での就活本番へとスムーズにつながるしくみを構築してきました。



キャリア支援の目標	
1年次 自己を知る	・「自己理解」と「他者理解」 ・「キャリア」について考える ・人生における「働く」意味や「働き方」について考える
2年次 働くことと仕事を知る	・「自己理解」と「職業理解」 ・「キャリア設計と自己開発」 ー自分と職業について考える ・「キャリア設計と業界研究」 ー業界を研究し、自分の将来と照らし合わせ考える
3年次 戦略を練る	・「キャリア設計と企業・施設研究」 ー就職活動を想定し、企業・施設研究をおこなう ・「キャリア設計と自己表現」 ー就職活動を想定し、就職成功の戦略を練る
4年次 目標を達成する	・就職活動の実践 ・卒業後の生活に向けて ー目標をもって社会に巣立つことを具体的に考える

今年は新型コロナウイルス感染症のため大学も閉鎖となり、予定していた3月からのガイダンスやセミナーは対面式であり、全て白紙にもどす事態となりました。

このような状況で最初に開始したのが最優先である4年生向けの個々の就職希望調査で、大学内ポータルサイトにて行い、就活生の進路についての考え、希望を把握しました。

本学は小規模校である強みを活かして、在校生全員に対してのZOOM講義を5月連休明けから少しずつ開始し、同時に希望者への通信機器とPCの貸出をおこないました。



この環境を利用して、ZOOMでの個人面接練習や、就活ガイダンス、履歴書や小論文の添削をメールベースで全て対応してきました。また1～3年生に対しては実施出来ていなかったオリエンテーションや、各種ガイダンスを実施し、アンケートは 구글フォームを用いて行い、最初に予定していたキャリア支援プログラムをほぼWEBにて実施することが出来ました。10月か

らは対面授業が全面的に開始されたので、対面式でのガイダンスを交えて進めていく予定をしています。

【キャリア支援センター コンセプト】

－「ともに考え、共に成長しよう」－
TOMOTOMO

卒業後の進路として、就職、進学、留学など、自分自身の進むべき道を自ら選択、決定、実現していくために、皆さん一人ひとりに適したキャリアを形成することが求められます。

ここでは、皆さんがキャリアを形成していくために必要となる、自分の「興味」「能力」「価値観」と自分を取巻く「社会環境」について考え、自らの力で生き方を選択していくことが出来るよう、支援していきます。

キャリア支援

- ①就活・進路ガイダンス
- ②各種講座開催（マナー講座、着こなし、就活メイク、適性試験対策等）
- ③病院実習、病院見学フォロー
- ④求人情報の提供
- ⑤応募書類（履歴書、小論文等）の作成支援
- ⑥個別面談
- ⑦面接練習
- ⑧各施設情報の提供

進学支援

- ①大学院進学支援、面談、相談
- ②大学院募集情報の提供

連絡先：京都医療科学大学

<https://www.kyoto-msc.jp/>

TEL: 0771-63-0066

Email: career_support@kyoto-msc.jp